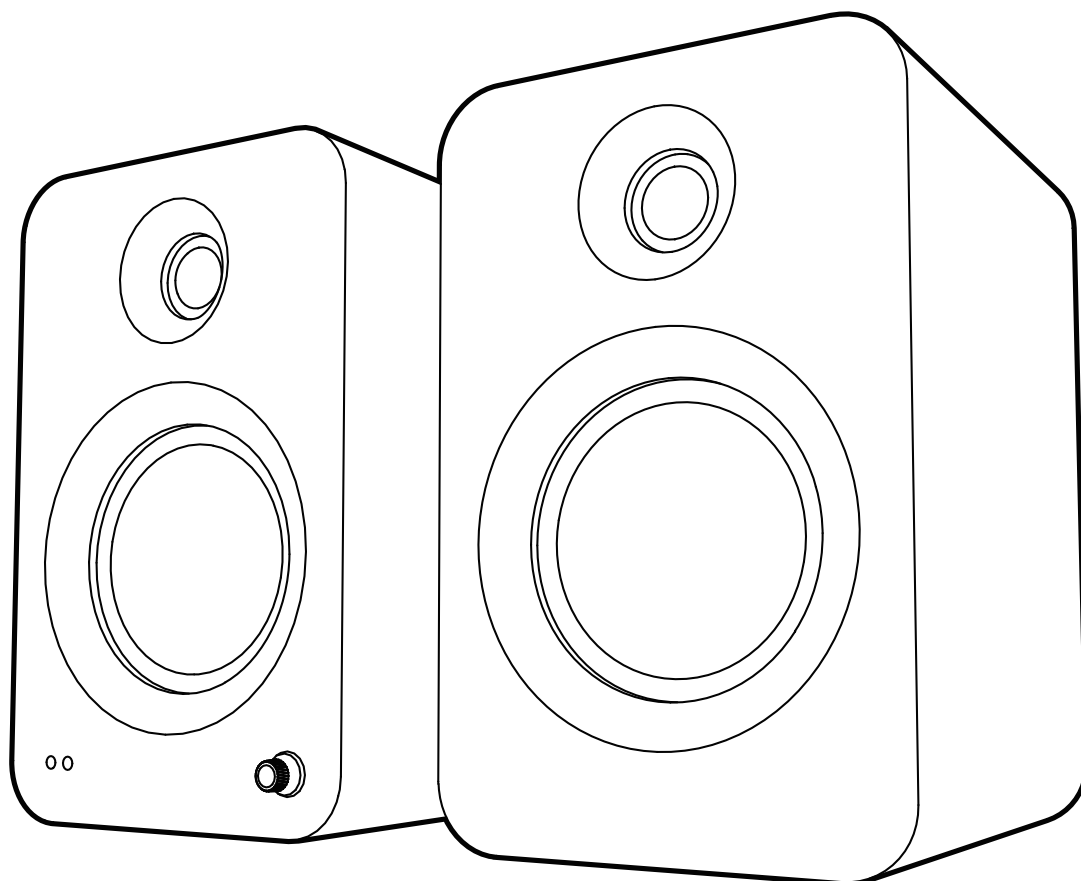


kanto

日本語
ユーザーマニュアル
REN

HDMI[®]
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

Bluetooth[®]



REN

POWERED SPEAKER SYSTEM

Supporting your digital lifestyle[™]

重要な安全上の注意事項



警告

安全の為に注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。



注意: 感電の危険を軽減する為、バックパネルを取り外さないでください。資格のあるサービス担当者に修理・点検をご依頼ください。



感電注意

分解したり、水をかけると、感電の原因になります。

- この説明書をお読みください。
- この説明書を保管してください。
- 全ての警告にご注意ください。
- 機器を水の近くで使用しないでください。
- お手入れは乾いた布でのみ行ってください。
- 通気口を塞がないでください。
- ラジエーター、ヒーター、ストーブ、その他熱を発生する機器(アンプを含む)などの熱源の近くに設置しないでください。
- 電源コードを踏んだり挟んだりしないでください。
- 付属品はメーカー指定品以外使用しないでください。
- カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどはメーカー指定品、または付属品をご使用ください。
- カートを使用する場合、転倒による怪我を避けるため、十分ご注意ください。
- 雷雨時や長期間使用しない場合は、本装置の電源プラグを抜いてください。
- あらゆる整備は資格のあるサービス担当者にご依頼ください。

目次

安全上のご注意	2
はじめに	4
同梱品	4
フロントパネルとリアパネル	5
リモコン	6
RENの設定	7
テレビへの接続	9
スマートホームデバイスまたはネットワークストリーマーへの接続	10
コンピューターへの接続	11
ターンテーブルへの接続	11
Bluetooth®接続	12
サブウーファーへの接続	13
特別な機能	14
トラブルシューティングガイド	15

MANUFACTURER AND IMPORTER:
Kanto Living Inc., 9136 196A Street, Langley, BC, Canada V1M 3B4

はじめに

この度はカナダの Kanto 社のスピーカー REN をお選びいただきまして、誠にありがとうございます。
REN は、映画館のような臨場感と、音楽鑑賞の楽しさを両立させた、新しいスピーカーです。

HDMI ARC に対応しているので、あなたのテレビと簡単に接続でき、映画やドラマをより迫力のあるサウンドで楽しめます。

夜間でも周囲を気にせず、セリフをクリアに聞き取れる「ナイトモード」を搭載。また、サブウーファーを接続すれば、さらに重低音を楽しめます。

Bluetooth5.3に対応しているので、スマホやパソコンの音も手軽に楽しめます。

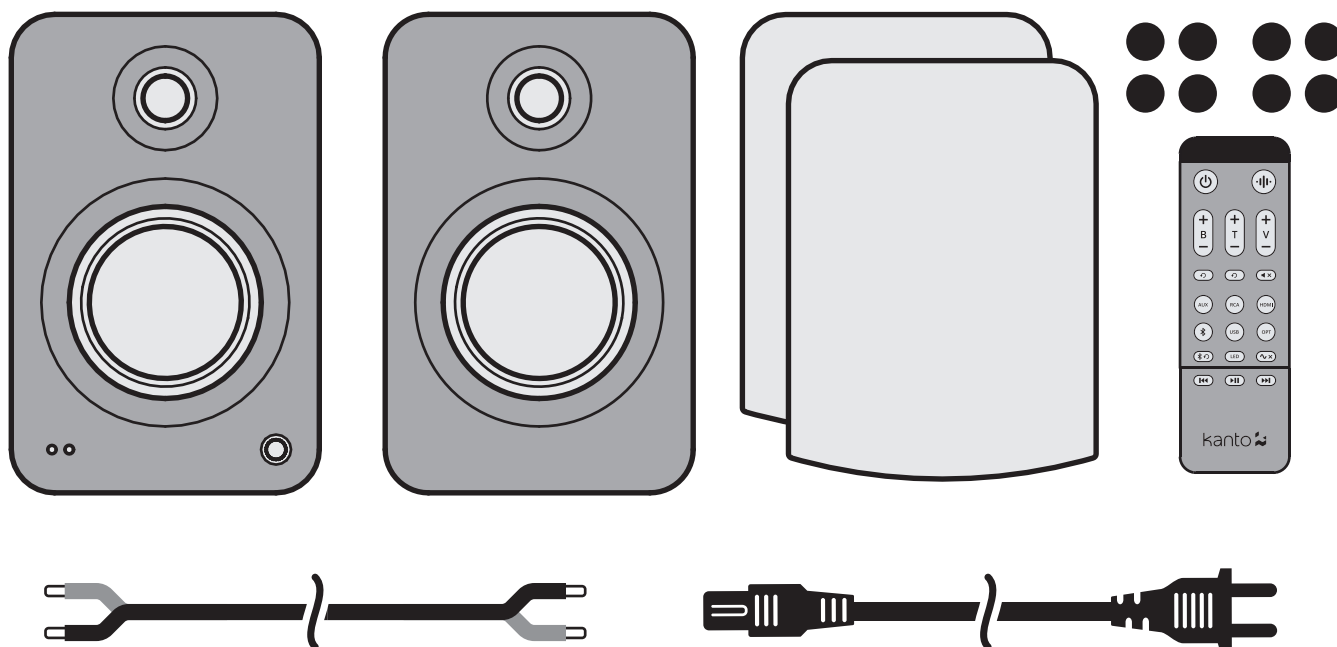
リビングだけでなく、寝室や書斎など、どんなお部屋にもぴったりの、多機能なスピーカーです。

ご使用前に本マニュアルをよくお読みいただき、将来参照できるように保管しておくことをおすすめします。
Kanto 社は、本製品の誤った設定や使用によって生じた損害や傷害については責任を負いません。

このパワースピーカーシステムは、製造中、梱包および出荷前に慎重にテストおよび検査されています。
開梱後、破損がないかまずご確認ください。

輸送中にユニットが破損することは稀ですが、その場合は直ちに販売店にご連絡ください。

同梱品



フロントパネルとリアパネル

1 1インチシルクドームツイーター

2 5.25インチアルミコーンウーファー

3 コントロールノブ

REN のコントロールノブは、音量調整、入力切替、スタンバイモードへの入出力切替に使用できます。

ノブを押す：入力ソースを選択する。

最後に使用された入力ソースに応じて、次の入力ソースに切り替わります。

ノブを長押し：スタンバイモードにする、またはスタンバイモードから復帰するために、長押しします。

4 LED

青緑色 - AUX

緑色 - RCA

紫色 - HDMI® ARC

桃色 - Optical

黄色 - USB

青色 - Bluetooth Pairing(点滅)

- Bluetooth Paired(点灯)

5 リモコン受信機

6 バスレフポート

7 USB 給電ポート (5 V / 1 A)

8 サブウーファーアウトプット

9 インプット

AUX

RCA

Optical

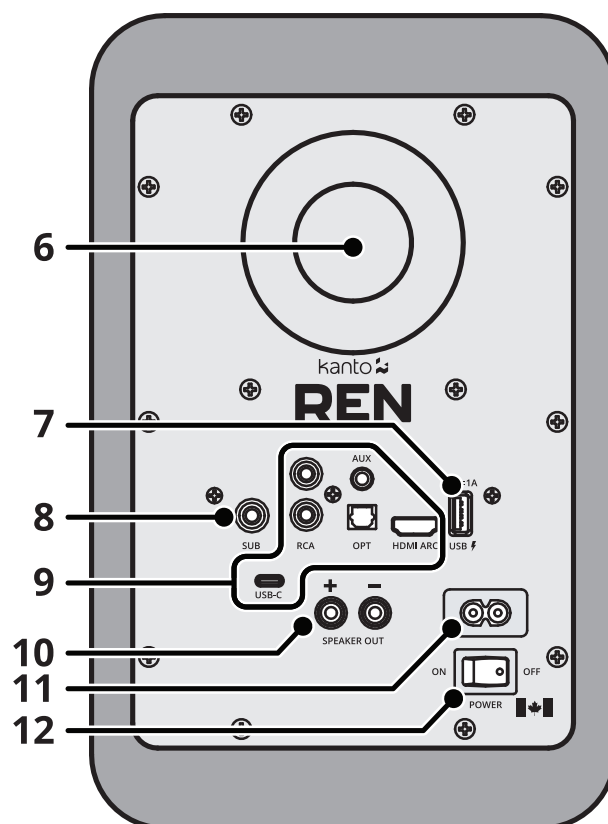
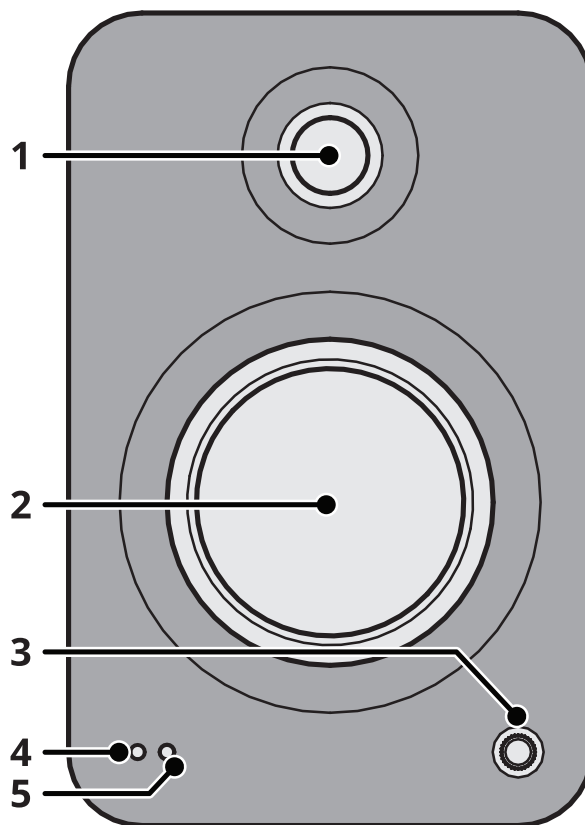
HDMI® ARC

USB-C

10 スピーカーアウトプット (+ and -)

11 AC電源入力 (100 V - 240 V)

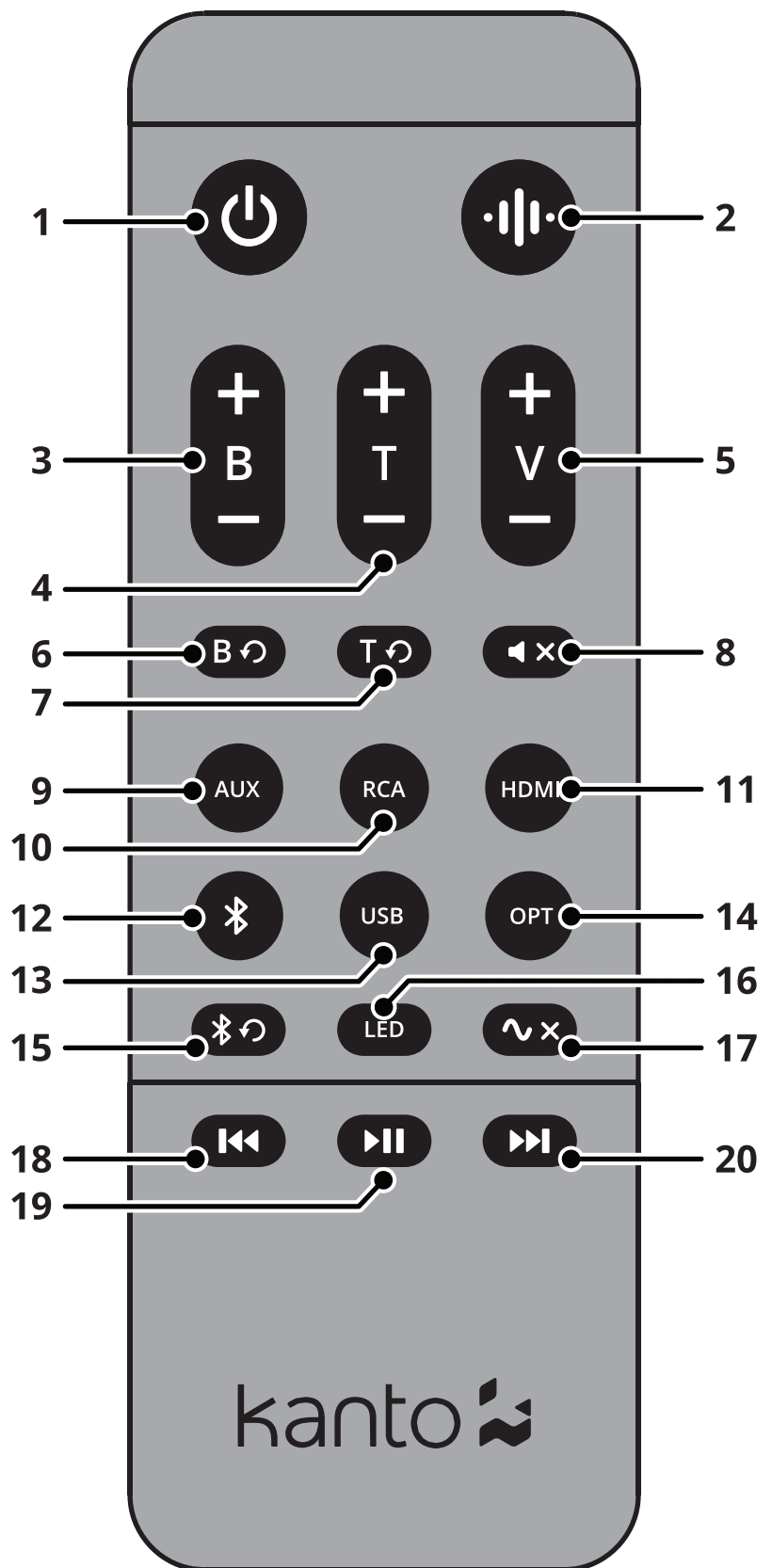
12 ON / OFF スイッチ



リモコン

リモコンに単 4 電池を 2 本入れてください。リモコンの機能は以下の通りです。

- 1 スタンバイ/ウェイクアップ
- 2 サウンドモード
- 3 ベース調整
- 4 トレブル調整
- 5 ボリューム調整
- 6 ベースリセット
- 7 トレブルリセット
- 8 ミュート
- 9 AUX入力
- 10 RCA入力
- 11 HDMI® ARC入力
- 12 Bluetooth®
- 13 USB入力
- 14 光デジタル入力
- 15 Bluetooth®リセット
- 16 LED輝度調整
- 17 サブウーファー
- 18 前の曲
- 19 再生/一時停止
- 20 次の曲



RENの設定

電源が OFF であることを確認してください。

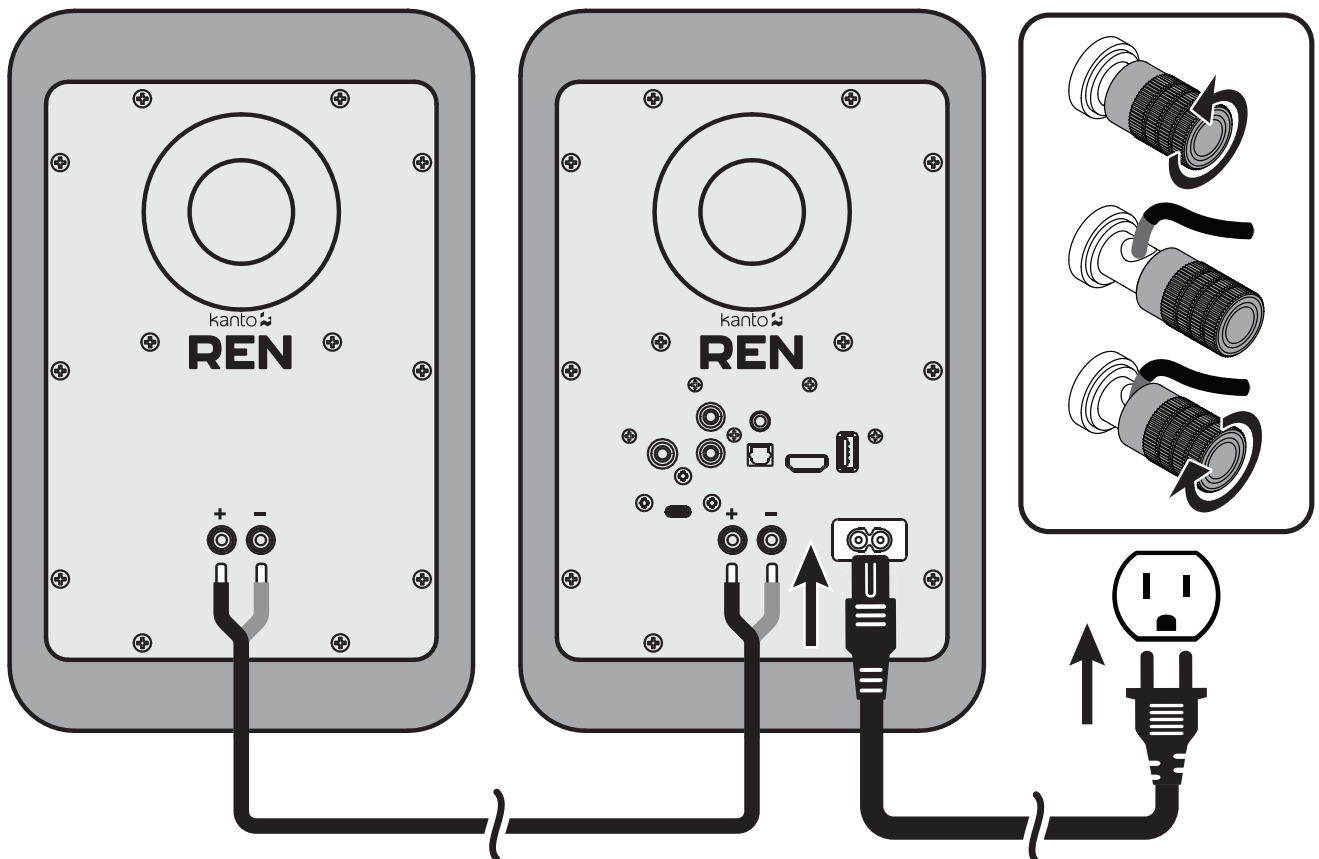
付属のスピーカーケーブルを使用して、以下の図のように 2 つのスピーカーを接続します。アクティブスピーカーの RED (+) と BLACK (−) 端子を、パッシブスピーカーの対応する端子に接続します。スピーカーを付属のケーブルが届く範囲よりも離して配置したい場合は、信号損失を最小限に抑えるために、太めのスピーカーケーブルを購入することをお勧めします。

REN のアクティブスピーカーから AC 電源コードを壁のコンセントに接続します。すべての入力接続されたら、電源を ON にします。

平均的なリスニングルームでは、REN スピーカーを壁の後ろから少なくとも 8 インチ (約 20cm) 離れた位置に設置することを推奨します。この距離により、バランスの取れたサウンドと広々としたサウンドステージを実現できます。

しかし、お部屋のレイアウトや家具の配置など、どうしてもこの位置に設置できない場合もありますので、そのような場合は、ご自身のリスニング環境に合わせて、部屋の形、大きさ、家具などを考慮しながら、最適な設置位置を探してみてください。

次のページの手順に従って、オーディオソースを REN に接続してください。



注意

オーディオケーブルを接続するときは、ON/OFF スイッチを OFF にする必要があります。すべてのケーブルを接続して、ユニットの電源を ON にします。音量が大きい場合、聴覚に損傷を与えるレベルの騒音を発生する可能性があります。ORAはパワードスピーカーシステムです。破損する可能性がありますので、スピーカー端子を他社のステレオアンプには接続しないでください。スピーカーには付属の電源アダプターのみ使用してください。

RENの設定

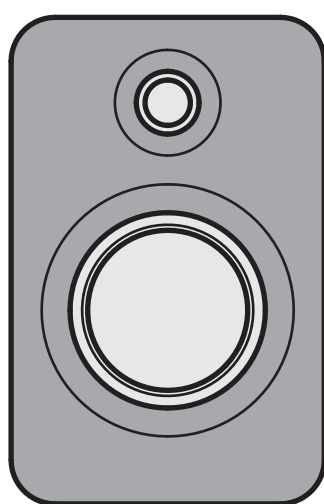
起動 / シャットダウン時間

REN は、起動とシャットダウンに最大 6 秒かかることがあります。この間、スピーカーはリモコンやコントロールノブの調整に 응답しません。REN が起動している間に設定を変更しようとすると、オーディオが再生されたときに不快なサウンドが生じる可能性があるため、設定を変更しないでください。

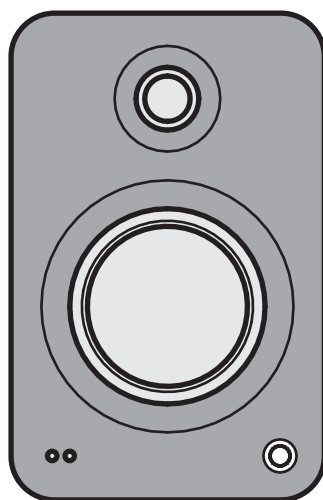
チャンネルスワップ

REN では、L/R ステレオ出力を入れ替えることができます。アクティブスピーカーはデフォルトで左チャンネルに設定されています。

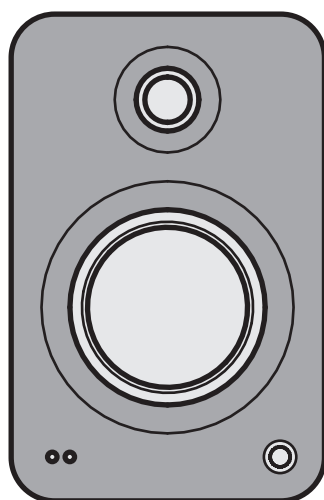
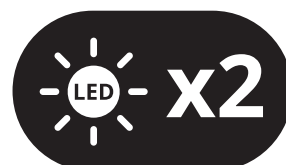
アクティブスピーカーを右チャンネルで使用するには、リモコンの次の曲ボタンを 5 秒間押し続けます。LED が 2 回点滅して、出力が入れ替わります。アクティブスピーカーを左チャンネルで使用するには、前の曲ボタンを 5 秒間押し続けます。LED が 2 回点滅して、出力が入れ替わります。



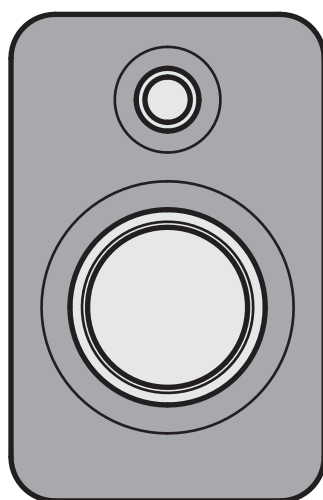
L



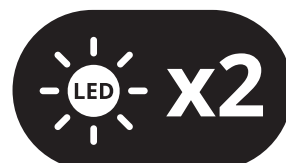
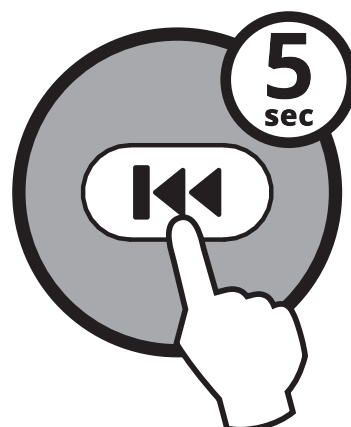
R



L



R



テレビへの接続

REN には、テレビと接続するための HDMI® ARC 入力 that 搭載されています。ほとんどの現代的なテレビには、HDMI® ARC ポートがあります。REN はステレオソースを必要とするため、テレビのオーディオ出力をサラウンドではなくステレオに設定する必要がある場合があります。

以下の手順は一般的な概要であり、実際の手順はテレビのブランドによって異なります。

手順

1. スピーカーがスタンバイまたはオフの状態の間に、HDMI® ケーブルの一端をテレビに、もう一端を REN の HDMI® ARC 入力に接続します。
2. テレビの電源を入れ、メニュー内のオーディオ設定に移動します。テレビのオーディオ設定の場所がわからない場合は、テレビのマニュアルを参照してください。
3. オーディオ設定内で、オーディオ出力を PCM、ステレオ、または 2 チャンネルに変更してください。
4. スピーカーの電源を入れ、REN リモコンの HDMI ボタンを使用して HDMI® ARC 入力を選択します。REN のフロントパネルにあるノブを押すことで、入力を切り替えることもできます。

スピーカーの音量を調整し、テレビの音声 that スピーカーから再生されれば設定完了です。

テレビの電源が入っているときに、HDMI® 以外の入力を使用している場合は、REN は自動的に HDMI® ARC 入力に切り替わります。テレビの電源が入っている間でも、REN のリモコンを使用して別の入力で切り替えることもできます。

スマートホームデバイスまたはネットワークストリーマーへの接続

REN には、スマートホームデバイスやネットワークストリーマーで使用に対応する光デジタル入力と Bluetooth® が搭載されています。以下の手順は一般的な概要であり、実際の手順はデバイスによって異なります。

手順

1. アプリを使用しデバイスが正しく動作していることを確認してから、REN に接続してください。
2. デバイスにオーディオ出力がある場合は、ケーブルの一端をデバイスに、もう一端を REN に接続します。
3. デバイスに Bluetooth® しかない場合は、デバイスの指示またはアプリを参照して Bluetooth® のセットアップを完了してください。

スピーカーの音量調整後、デバイスの音声がスピーカーから再生されるはずですが、REN の自動電源オフ機能を無効にすることで、スピーカーがスタンバイモードに入るのを防ぎ、通知やプロンプトを見逃さないようにすることができます(ページ 14 を参照)。

デバイスを使用していないときにスピーカーを自動的に電源オフする場合は、デバイスのウェイクアップ音を有効にすることをおすすめします。REN はオーディオを検知すると数秒かけてウェイクアップします。ウェイクアップ音を有効にすることで、オーディオがデバイスからストリーミングされる前にスピーカーが起動しやすくなります。ウェイクアップ音を有効にする方法については、デバイスのマニュアルを参照してください。

USB 充電機能

REN には、背面パネルに 5V/1A の USB 充電ポートが 1 つ搭載されています。これは、スマートホームデバイスやネットワークストリーマーのための便利な電源です。

USB 充電は、REN が起動中またはスタンバイ中のときに利用できます。

パソコンへの接続

RENには、パソコンやその他のオーディオ機器と接続するためのUSB-C 入力端子が装備されています。

1. スピーカーがスタンバイ状態または電源オフの状態、USB ケーブルの一端をパソコンの USB ポートに、もう一端を REN の USB 入力端子に接続します。次のケーブル構成のみ REN と正しく動作します。

USB-C to USB-C

USB-C to USB-C w/ USB-A アダプター

USB-C to USB-A

2. スピーカーの電源をオンまたはウェイクアップし、REN のリモコンを使用して USB 入力を選択します。REN のフロントパネルにあるノブを押すことで、入力を切り替えることもできます。

パソコンがスピーカーを認識すると、自動的に USB 接続を通じてオーディオを出力し始め、スピーカーからパソコンの音声が聞こえるようになります。音声が聞こえない場合は、パソコンのオーディオ出力設定で「REN by Kanto」を手動で変更してください。これらの変更を行ってもまだ音声が聞こえない場合は、「トラブルシューティングガイド」(ページ 15) を参照してください。

REN は、リモコンの再生 / 一時停止ボタン、次のトラック / 前のトラックボタンを使用して、オーディオプレーヤー（ストリーミングサービス、音楽アプリケーションなど）を制御することができます。一部のオーディオプレーヤーは、これらのリモコンコマンドに応答しない場合があります。

ターンテーブルへの接続

REN は、内蔵フォノイコライザーまたは外付けフォノイコライザーを搭載したターンテーブルが必要です。

1. スピーカーがスタンバイ状態または電源オフの状態、ターンテーブルのオーディオケーブルを REN の右と左の RCA 入力端子に接続します。
2. スピーカーの電源をオンまたはウェイクアップし、REN のリモコンを使用して RCA 入力を選択します。REN のフロントパネルにあるコントロールノブを押すことで、入力を切り替えることもできます。スピーカーの音量を調整したら、ターンテーブルの音声がスピーカーから再生されるようになります。音声が聞こえない場合や音量が小さい場合は、プリ・アンプが有効になっていることを確認するか、「オーディオトラブルシューティングガイド」を参照してください。

Bluetooth® 接続

REN は Bluetooth® 5.3 と AAC コーデックを搭載しており、多くのデバイスとペアリングし、スマートフォンやタブレットからワイヤレスでオーディオを再生することができます。ペアリングは簡単です。

1. REN のリモコンの Bluetooth® ボタンを押して、入力ソースを選択してください。REN のフロントパネルのコントロールノブを押すことで、入力を切り替えることもできます。REN は最後に接続したデバイスに再接続しようとしませんが、新しいデバイスが接続することもできます。また、リモコンの Bluetooth® リセットボタン(※)を押すことで、ペアリングモードを手動で入力することもできます(「リモコンの図」を参照)。
2. Bluetooth® デバイスを有効にして、ペアリングする新しいデバイスを検索します。ペアリング可能な Bluetooth® デバイスの一覧から「REN by Kanto」を選択します。
3. ペアリングが成功すると、LED が点灯します。同じ Bluetooth® デバイスを再度ペアリングする必要はありません。「REN by Kanto」は、リストから削除するまでデバイスリストに残ります。
4. デバイスが REN とペアリングされない場合は、リモコンの Bluetooth® リセットボタン(※)を押すか、デバイスの Bluetooth® をオフにしてからオンに戻し、手順 1 から 3 を繰り返してください。または、スピーカーの電源スイッチをオフの位置にしてから、オンに戻すこともできます。

Bluetooth® 操作

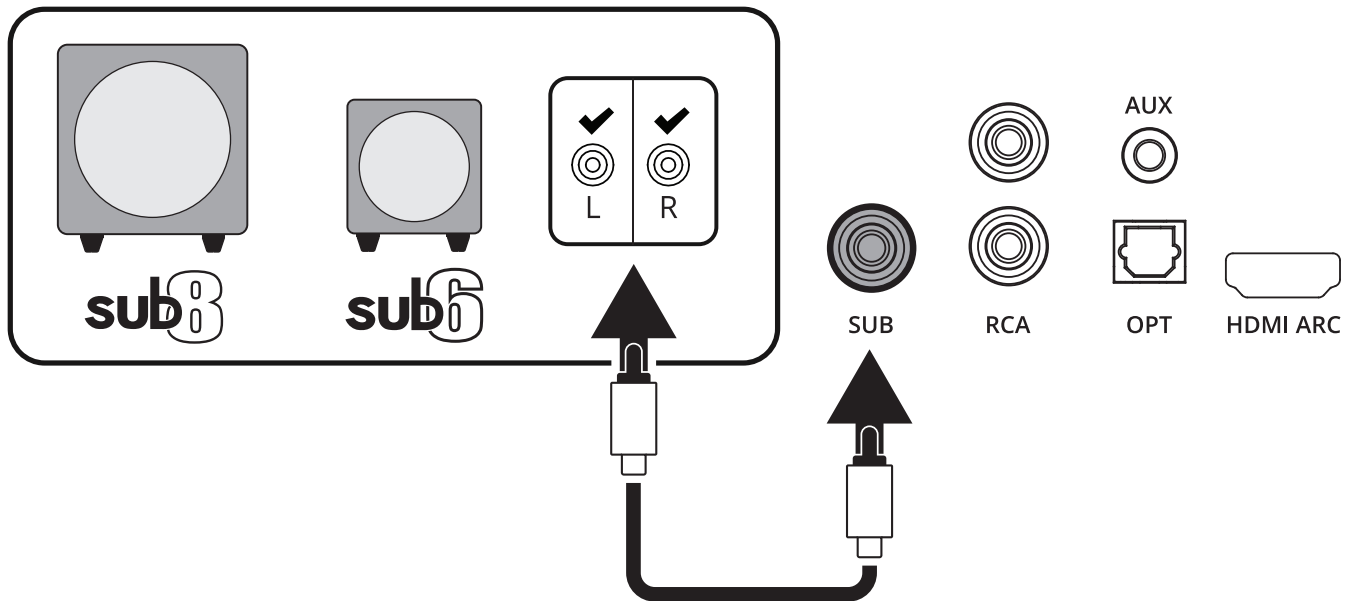
1. スピーカーとデバイスの間の距離は 10メートル以内を推奨します。この範囲内で最高の信号忠実度が得られます。
2. REN リモコンには、ペアリングしたデバイスをすばやく切断し、2 番目のデバイスがスピーカーとペアリングできるようにする Bluetooth® リセットボタンがあります。必要に応じて、Bluetooth® リセットボタン(※)を押して、ペアリングしたデバイスを切断します。
3. 他のデバイスをペアリングするには、ペアリング手順に従ってください。
2 番目のデバイスでも同じ動作と機能が適用されます。

サブウーファーへの接続

REN は、powered subwoofer（パワードサブウーファー）への出力を提供する RCA コネクターを装備しています。

REN の「Subwoofer Out」端子から RCA サブウーファーケーブルを 1 本、サブウーファーの RCA 入力端子に接続するだけです。

サブウーファーにステレオ L/R RCA 入力端子がある場合は、左右どちらかの入力を使用してください。



サブミュート

REN には、背面パネルに 5V/1A の USB 充電ポートが 1 つ搭載されています。これは、スマートホームデバイスやネットワークストリーマーのための便利な電源です。

サブ出力をミュートするには、Sub ボタンを押します。サブウーファー出力がミュートされれば LED が点滅します。サブウーファー出力をミュート解除するには、もう一度 Sub ボタンを押します。サブ出力がミュート解除されれば LED が点滅します。サブウーファー出力は、スタンバイから復帰すると再アクティブ化されます。



アクティブクロスオーバー

REN は、80Hz のアクティブクロスオーバーフィルターを装備しており、サブウーファーとの高度なセットアップを可能にします。クロスオーバーはメインスピーカーの低音拡張を減らし、中高域に集中させるとともに、サブウーファー出力の高域出力を減らします。サブウーファーに帯域幅またはクロスオーバー周波数設定が調整可能な場合は、最高または最もオープンな設定に調整することができます。

アクティブクロスオーバーは、サブウーファーケーブルがサブウーファー出力（ラベルは SUB）に接続されると自動的にアクティブになります。サブミュート機能がアクティブになっている場合は、メイン出力の高パスフィルターは非アクティブになります。

アクティブな構成から、Sub ボタンを 5 秒以上押し続けると、高パスフィルターの状態が反転して、エッジケースに対応します。



特別な機能

サウンドモード

REN には、最新のコンテンツを視聴する際に発生する一般的な問題を解決するための 2 つのサウンドモードが用意されています。

1. Vocal Boost は、人間の声に含まれる中域の周波数を上げて、会話が静かな場合の明瞭度を高めます。
2. Night Mode は、スピーカーにハイパスフィルターを適用し、接続されているサブウーファーをミュートして、低周波のコンテンツが家の他のエリアや壁を通して伝達されるのを防ぎます。このモードでは、少量のコンプレッションも適用され、素早く大きな効果音を優しく減衰させます。

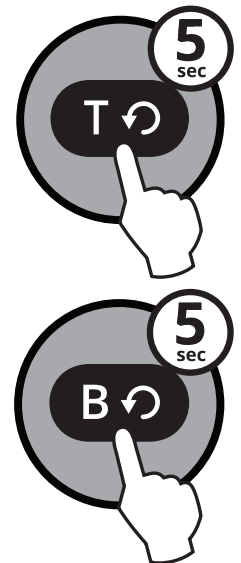
Sound Mode ボタンを 1 回押すと Vocal Boost が有効になり、もう 1 回押すと Night Mode が有効になります。ボタンを 3 回押すとスピーカーは通常に戻りますが、Sound Mode ボタンを 5 秒間押し続けると、Sound Mode をサイクルすることなくすぐに通常に戻ることができます。

自動電源オン(APU)/ 自動電源オフ(APD)

REN は、使用していないときに電力を節約するように設計されています。15 分間オーディオ信号が検出されない場合、REN は自動的に電源をオフ(APD)にしてスタンバイ状態になります。オーディオ信号が、REN がスタンバイ状態になったときに再生していた入力と同じ入力から戻ってきた場合、REN は自動的に電源オン(APU)します。また、以下のように手動でウェイクアップすることもできます：

- ・ リモコンのスタンバイボタンを押す
- ・ コントロールノブを押す

APU 機能が役に立たない場合は、リモコンの Treble Reset ボタンを押して 5 秒間押し続けることで、無効にすることができます。LED が 1 回点滅して、APU 機能を無効にしたことを示します。APU を有効にした場合は、Treble Reset ボタンをもう一度 5 秒間押し続けるだけです。LED が 2 回点滅して、APU を有効にしたことを示します。



APD 機能が役に立たない場合は、リモコンの Bass Reset ボタンを押して 5 秒間押し続けることで、無効にすることができます。LED が 1 回点滅して、APD 機能を無効にしたことを示します。APD を有効にした場合は、Bass Reset ボタンをもう一度 5 秒間押し続けるだけです。LED が 2 回点滅して、APD を有効にしたことを示します。

ファクトリーリセット

アクティブな状態から、コントロールノブを 10 秒以上押し続けます。フロント LED が 2 回点滅し、その後ユニットはスタンバイ状態になり、すべての工場出荷時の設定が復元されます。

LED 輝度

フロントパネルの REN の LED は、オフを含む 5 段階の輝度レベルに調整可能です。REN リモコンの LED ボタンを押すことで、輝度設定をサイクルできます。

トラブルシューティングガイド

Kanto REN に関するよくある質問

1. フロントパネルの LED が点灯していません。

- 電源ケーブルがスピーカーと電源コンセントに接続されていることを確認してください。
- 電源コンセントに電力が供給されていることを確認してください。
- スピーカー背面の電源スイッチが ON の位置にあることを確認してください。
- 『LED』ボタンを押して、オフになっていないか確認してください。

2. フロントパネルの LED が点灯しているが、オーディオが再生されていません。

- 正しい入力を選択されていることを確認してください。スピーカーのフロントパネルにあるノブを押すかリモコンを使用して異なる入力を選択し、正しい入力を選択してください。
- ソースの音量を最大レベルに設定してください。オーディオソースがオーディオを再生していることを確認してください。
- ソースとの間で接続されているオーディオケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。別のオーディオケーブルがある場合は、ケーブルを交換してテストしてください。
- スピーカーの音量が最小レベルになっていないことを確認してください。フロントパネルのノブまたはリモコンの音量コントロールを使用して、音量を上げてください。

3. リモコンが正常に機能していません。

- ソースの音量を最大レベルに設定してください。オーディオソースがオーディオを再生していることを確認してください。
- リモコンのバッテリーコンパートメントをチェックして、バッテリーが正しく取り付けられ、正しく配置されていることを確認してください。
- バッテリーを交換してください。

4. オーディオを聴いている間にスピーカーがスタンバイ状態になります。

- ソースの音量を最大レベルに設定してください。ソースの音量が低いと、誤ってスタンバイモードがトリガーされることがあります。
- 自動電源オフを無効にしてください(ページ 14 を参照)。

5. オーディオ品質が低下しています。

- ソースの音量を最大レベルに設定してください。ソースの音量が低いと、ダイナミックレンジに悪影響を与えることがあります。
- スピーカーの背面が壁から少なくとも20センチ離れていることを確認し、背面ポートの機能が妨げられないようにしてください。
- ベースとトレブルのレベルをデフォルト設定に設定してください。
- 問題を特定するために、別の曲やソースをテストしてください。

6. ソースが Bluetooth® に接続しません。

- スピーカーが Bluetooth® モードになっていることを確認してください。スピーカーのフロントパネルにあるノブを押すか、リモコンを使用して異なる入力を切り替えて、Bluetooth® を選択してください。
- フロントパネルの LED が青色で急速に点滅していることを確認し、スピーカーがペアリングモードになっていることを確認してください。LED が点灯している場合は、リモコンの Bluetooth® リセットボタンを押して、以前に使用したデバイスをペアリング解除し、ペアリングモードに入ります。
- ソースで Bluetooth® をオフにしてからオンに戻してください。
- ソースでデバイスを検索しているときに「REN by Kanto」が見つからない場合は、スピーカーの電源スイッチを OFF にしてから ON にすることでスピーカーの電源を入れ直してから、これらの手順をもう一度試してください。

7. 雑音、ヒスノイズ、または歪みが発生しています。

- HDMI® ARC、USB、または光入力を使用している場合は、ソースの出力をステレオ (サラウンド、ドルビー、DTS、または 5.1 ではなく) に設定し、サンプリングレートを 96 kHz 以下に設定してください。
- スピーカーからすべてのソースを取り外して、ノイズがソースから発生しているかどうかを確認してください。
- 異なる回路の電源コンセントを試して、電源の問題ではないことを確認してください。
- ソースとの間で接続されているオーディオケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。問題を特定するために、別のケーブルまたはソースを試してください。

8. 接続されたサブウーファーから音が出ません。

- Sub ボタンを押して、サブウーファーがミュートされていないかどうかを確認してください(詳細については、ページ 13 の「サブミュート」を参照)。
- サブウーファーとの間で接続されている RCA ケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。問題を特定するために、別のケーブルまたはソースを試してください。
- サブウーファーが電源コンセントに接続されており、電源が入っていることを確認してください。
- サブウーファーの音量を上げてください。
- サブウーファーのカットオフ周波数を上げてください。
- コントロールノブを 10 秒以上押し続けることで、工場出荷時のデフォルト設定にリセットしてください。

NOTICE: The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Kanto Distribution Inc. is under license.

NOTICE: The terms HDMI®, HDMI High-Definition Multimedia Interface, HDMI Trade dress and the HDMI Logos are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.

保証規約

日本国内における保証期間はご購入日から1年です。製品の欠陥が原因で機器が故障し、販売から12ヶ月以内に正規販売店から請求書原本の証明とともに当社に通知された場合、当社は、機器が機械的、電氣的、またはその他の改造を受けていないことを条件に、修理、交換部品の提供または機器の交換を行うことができます。

このマニュアルの情報は慎重にチェックされ、正確であると信じられています。ただし、Kantoはマニュアルに含まれる可能性のある誤りについて一切の責任を負いません。いかなる場合においても、Kantoは機器の欠陥に起因する直接、間接、特別、付随的、または結果的な損害に対して責任を負いません。この保証は、その他の明示または黙示の保証を含む、すべての保証の代替となります。特に商品性や特定の目的への適合性に関する保証を含む、すべての黙示の保証は明示的に否認されます。